

平成 18 年度 政策創薬総合研究推進事業 研究成果等普及啓発事業 研究成果発表会

高度分析評価技術を応用した医薬品製剤開発および製造工程管理手法の研究  
(主任研究者：檜山行雄)

日時 2007 年 1 月 26 日 (金) 9:30 ~ 17:00

会場 こまばエミナース 大ホール (東京都目黒区大橋 2-19-5)

主催 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 (<http://www.jhsf.or.jp>)

プログラム

- ・ 近赤外分光法による顆粒製剤の物性評価 (国立衛研) 藤巻康人
- ・ 近赤外分光法を用いた凍結乾燥製剤の評価 (国立衛研) 伊豆津健一
- ・ 近赤外分光法を用いた非水性眼科用製剤中の含有水分の解明と保存効力との関係について (参天製薬(株)) 塩谷和史
- ・ 原薬の結晶形態 (晶癖) と溶出特性に関する研究 (東邦大薬) 米持悦生
- ・ PAT における Ultra Performance Liquid Chromatography (UPLC) の適用可能性について (国立衛研) 坂本知昭
- ・ 微生物と固形製剤の分析技術評価 (ファイザー(株)) 本田昌徳
- ・ 近赤外イメージングシステムを用いた造粒メカニズムの解析 (国立衛研) 小出達夫
- ・ 固形製剤製造における障害要因分析への新アプローチ (エーザイ(株)) 横山 誠
- ・ 原薬プロセス研究への in-Situ Raman の適用 (田辺製薬(株)) 小林 亮
- ・ 打錠工程における含量迅速測定法の開発 (アステラス製薬(株)) 百瀬 亘
- ・ 近赤外分光法を用いた製剤および包装品の識別性に関する研究 (塩野義製薬(株)) 中村 晃敏
- ・ 流動層粒子コーティング操作におけるリアルタイムでの被膜含量の測定および医薬品製造への適用可能性の検討 (株) パウレック) 長門琢也

参加費： 無料 (先着順)

申し込み方法：

E-mail ([hs-info@nihs.go.jp](mailto:hs-info@nihs.go.jp)) または往復はがきにて、HS 研究成果発表会と書き、氏名、所属、連絡先を明記の上、下記宛てまでお申し込みください。(1月12日(金)必着、先着500名まで受け付けます)

<申し込み先・問い合わせ先>

〒158-8501 東京都世田谷区上用賀 1-18-1

国立医薬品食品衛生研究所 薬品部内 HS 研究成果発表会事務局 担当 / 藤巻

TEL 03-3700-1141 (内線 230) FAX 03-3707-6950

E-mail [hs-info@nihs.go.jp](mailto:hs-info@nihs.go.jp) <http://www.nihs.go.jp/drug/section3/HS2006Hiyama.pdf>